

◆河川景観デザイン

2008年発行（490P）

編集者：「河川景観の掲載と保全の考え方」検討委員会

発行所：財団法人リバーフロント整備センター

川づくりにおける「景観」面に着目して、河川景観の本質を理解し、河川景観のあるべき姿を実現するための基本的な考え方や具体的手法をとりまとめた図書です。

【目次】

はじめに	1
本手引きの活用にあたって	
第1章 「河川景観の形成と保全の考え方」の目的と構成	6
1.1 「河川景観の形成と保全の考え方」の目的	6
1.2 本手引き活用場面	7
1.3 本手引きの構成	10
原論編	
2章 河川景観を考える	16
2.1 河川景観とは	16
2.2 河川景観の特徴	20
2.3 河川景観デザインの心得	27
3章 河川景観の基礎知識	30
3.1 自然の営みがかたちづかった河川景観	30
3.2 人々の営みがかたちづかった河川景観	50
3.3 心的現象からみた河川景観	87
3.3.1 視覚で捉える河川景観	87
3.3.2 視覚以外で捉える河川景観	95
マネジメント編	
4章 景観形成の仕組みづくり	102
4.1 流域における連携	102
4.1.1 景観形成における流域の連携の視点	102
4.1.2 まちづくりとの一体的な取り組み	103

4.1.3河川周辺の景観資源の活用	120
4.1.4景観法の活用	125
4.2 景観形成におけるパートナーシップ	131
4.2.1パートナーシップの必要性	131
4.2.2パートナーシップ推進の視点	132
4.2.3パートナーシップの実現のために	134
4.3 景観形成における合意形成	142
4.3.1景観形成における合意形成の考え方	142
4.3.2様々な合意形成の手法	144
4.3.3情報の共有	151
4.3.4合意形成に向けた取り組みにおける視覚的表現手法の活用	154
5章 景観保全の仕組みづくり	158
5.1 河川空間利用による河川景観の魅力の向上	158
5.2 地域活動・地域コミュニティによる河川景観の魅力の向上	167
5.2.1地域活動による河川景観の保全	167
5.2.2民間活力の活用	170
5.2.3河川文化の伝承	172
5.3 河川の維持管理と河川景観の保全	177
5.3.1河川の維持管理の果たす役割	177
5.3.2河川の維持管理における河川景観への配慮	178
5.4 河川敷地の占用や工作物の設置許可と河川景観の保全	183
5.4.1河川敷地の占用の許可等の果たす役割	183
5.4.2景観に配慮した河川敷地の占用の許可等の基本的な考え方	184
5.5 モニタリング	193
5.5.1モニタリングの果たす役割	193
5.5.2モニタリングの視点と手法	197
5.5.3モニタリング結果の活用	198
デザイン編	
6章 河川景観の調査と計画	200
6.1 河川景観の調査と計画の流れ	200
6.2 河川景観を読む	204
6.2.1文献調査	205
6.2.2現地調査	220

6.2.3河川景観の特徴の整理	226
6.3 河川景観の目標を考える	236
6.3.1河川景観の理想像を描く	237
6.3.2河川景観の目標を設定する	242
6.3.3重要景観区間の目標を設定する	245
6.4 河川景観の形成と保全の方策を考える	251
6.4.1景観区分毎の景観の形成と保全の方策を検討する	251
6.4.2重要景観区間における景観の形成と保全の方策を検討する	255
6.5 河川景観の形成と保全の方策を検証する	260
6.6 ケーススタディ	262
7章 骨格のデザイン	287
7.1 骨格のデザインとは	287
7.2 河川およびその周辺の空間構造に影響する要素への配慮	290
7.3 河川管理者が主体的に策定する河川関係の計画が 景観形成に対して支配的な場合	295
7.4 河川周辺の土地利用やまちづくりのあり方が景観形成に対して支配的な場合	308
7.4.1河川周辺の土地利用と河川景観	308
7.4.2まちづくりのあり方と河川景観	313
7.4.3水網のデザイン	325
7.5 災害復旧と河川景観	339
8章 場のデザイン	346
8.1 場のデザインとは	346
8.2 地域性と場のデザイン	348
8.3 都市空間と水辺のデザイン	404
8.4 拠点のデザイン	426
8.5 要素のデザイン	444
巻末資料	
参考文献一覧	464
掲載事例一覧（50音順）	466
掲載事例一覧（地域順）	469
出典一覧	471
文章中の出典一覧	485

索引487
検討委員会名簿490